

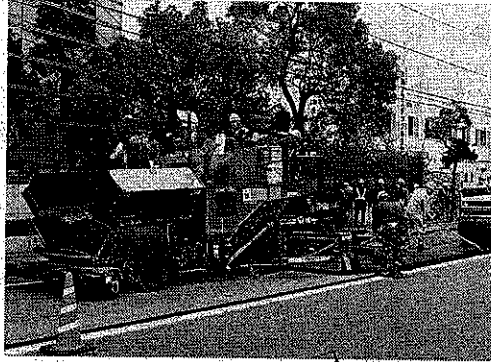
住宅街既設道路の  
低コスト延命化工法

# 施工機小型化で普及に弾み

## 11年度は実績倍増目指す

NIPPO

NIPPOは、低コストで住宅街の既設道路を延命化する表面処理工法「ニッポカーペット」向けに専用機を開発した。従来活用していた乳剤散布装置付きアスファルトフィニッシャーを小型化し、重機が大きすぎて搬入が難しかったような場所でも同工法を適用できるようにする。住友建機と共同で、小型化するためのさまざまな工夫を取り入れ、開発に成功した。今後、同機を積極的に活用することで、「自治体からの評価も高いニッポカーペットの普及に弾みを付けたい。11年度は前年度に比べて実績の倍増を目指す」（舗装事業本部）と話す。



乳剤散布装置付きのミニアスファルトフィニッシャーを使用した施工

新たに開発した乳剤散  
布装置付きのミニアス  
ファルトフィニッシャー  
は、総重量が9.5tで、  
申請も不要となる。施  
工幅員は従来機が2.3  
から6.5mまでに対応し  
ていたのに対し、新型機は  
1.7mから4.1mま  
でと小規模な現場に適し  
ている。  
国土交通省の第3次基  
準値の排ガス対策に対応  
するほか、特定特殊自動  
車排出ガス基準認定も取  
得するなど、環境にも配  
慮した重機だ。  
生活道路などをターゲ  
ットとするニッポカーペ  
ットを展開するうえで同  
社は、現場ニーズを取り  
入れて同機を開発。今後、  
小回りが利く専用機とし  
て活用しながら、大型の

従来機と併用する形で  
「適材適所に活用してい  
きたい」（技術開発部）  
としている。  
開発では、小型化する  
ための工夫として、散布  
する乳剤の加熱装置を改  
良。タンクの外側から温  
めていたものを、内部に  
設置した配管を通じて温

める方法へと改めた。た  
だ、小型化するという  
も、従来の操作方法と変  
更が生じないようにし  
て、大型機に装着してい  
る乳剤散布量が一定とな  
るよう制御できる最新型  
の装置も取り付けた。  
すでに3月に高知県内  
の2現場、計2000平  
方メートルに導入し、現場での  
有効性を検証。今後、各  
支店の需要に応じて現場  
に送り込み、反応を見な  
がら台数を増やすことも  
考えていく。  
ニッポカーペットは、  
交通量が比較的小さい道  
路の路面性状回復を目的  
に、加熱アスファルト混  
合物を15mmと超薄層でオ  
ーバレイする表面処理  
工法。経済性と耐久性を  
兼ね備えており、07年に  
関西地区で初めて導入さ  
れて以降、自治体のニ  
ーズに応えながら適用を広  
げている。  
専用小型機の導入を通  
じて同社は、ニッポカー  
ペットのさらなるコスト  
ダウンも可能になるとし  
ている。

日刊建設工業新聞  
平成23年4月18日掲載